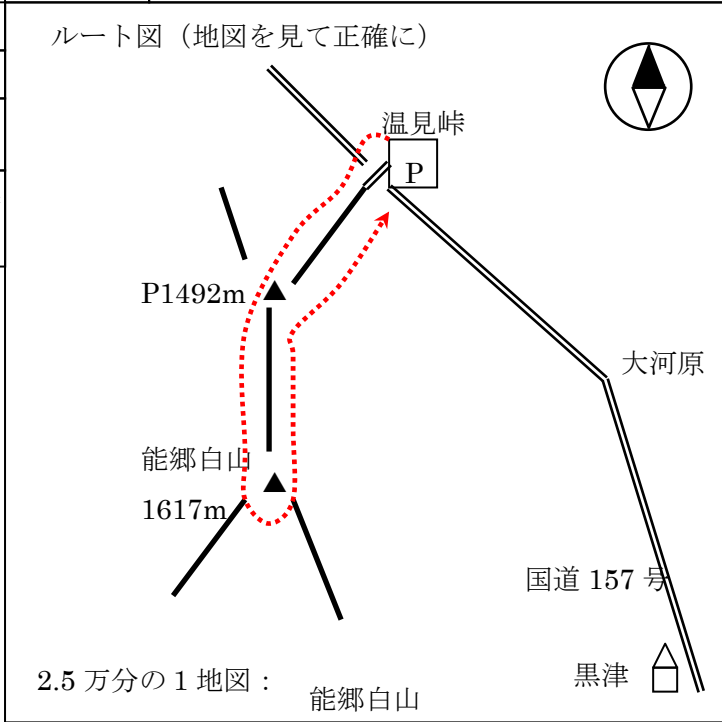


11月度 <b>例会</b> 山行報告書		報告者	中山 正夫	参加 メンバー	CL:亀山 誠 根芝 亮子 三矢十三世(OB 会員) 部外者 1名 中山 正夫(記)
個人		報告日	11/12		
山 域	奥美濃	山行日	14年 11月 1日 (土) ~		
山 名	能郷白山		11月 2日 (日)		

山行目的	奥美濃の秋を楽しむ	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	-----------	--------------------

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集  
会担当者



11/1(土)雨  
6:30 N1 駐車場発  
10:05 温見峠着  
10:35 峠発  
11:20~:30 休憩  
11:45 P1492m 通過  
12:15 能郷白山頂上  
12:20~:30 休憩(お社)  
13:55 温見峠着  
14:40 黒津古民家着  
16:00 食事(歌唱歓談)  
0:30 就寝  
11/2(日)曇り  
7:00 起床  
8:00 黒津発  
11:00 N1 駐車場着解散

今回のイメージを歌にするとこんな感じでした  
(唱歌 里の秋のイメージ)  
静かな 静かな 里の秋  
おせどに木の葉の  
落ちる夜は  
ああ亀さんと ただ五人  
マシュマロ焼きます  
いろいろ端

能郷白山

〈山行報告〉11/1(土) 雨の中 6:30 デンソ-本社 N1 駐車場を亀山さんの車で出発、名古屋高速-一宮-本巣市-根尾と走り、能郷から噂の酷道 157号(くらみ七里)へ入っていく。黒津から道が二又でわからず、偶然廃村をただ一人散歩中のかわいい女性に、道を尋ねるふりをして、いきなり亀山さんが「ナバ?」した。「今夜あなたの家に泊めてくれないかな」なんと大胆。彼女が管理を任されているリフォームされた古民家なら OK とのこと、一同大感激、雨のテント泊(地獄)から天国の夜が約束された。温見峠も雨の中 10:05 着、合羽を着て 10:35 歩きだす、ガスって視界なし、紅葉に慰められながら急登していく、1 回休憩のあと P1492m を越えてからは、ゆるやかな熊笹原の小ピークのアップダウン。12:15 能郷白山三角点着、展望なしの中で記念撮影した後で、白山神社奥宮裏で風雨をさけて食事休憩する。12:30 下山開始、13:55 温見峠着。14:40 黒津の彼女と再会し、古民家に案内される。間取りは新しい囲炉裏が切っただけの板の間 10 畳と和室 8 畳、6 畳のキッチンと水洗トイレ付きだった。さっそく囲炉裏で暖まり、なんとありがたいことか、みんなニコニコ笑顔。16 時ま

まず乾杯、根芝さん持参のマシュマロや、三矢さんの干し芋を竹串に刺して焼いて食べる、ほのかな甘味が疲れを癒す。その後は、ポテサラダ、サマの塩焼き、おでん、野菜炒め、

焼き肉、ビール、焼酎、ワイン、梅酒、チューハイと酒池肉林?状態でした。歌集を使って、一人 4 曲以上歌ってもらいました、亀山さんと私はそれ

以上歌いまくり、0:30 まで山里の秋の夜長を楽しみつくしました。

11/2(日)7:00 起床 8:00 黒津発で、11:00 N1 駐車場着、解散。

〈リーダー所見〉久しぶりに奥美濃&能郷白山の秋山を計画した。予想以上の風雨にさらされたが、温見峠辺りの雨に濡れた紅葉がとてもきれいだった! さらに黒津の民家へのお泊りのサプライズで、最高に楽しい時間となった! 光子さんとメンバーと囲炉裏とお酒に乾杯♪

フリースペース  
山の紹介・スケッチ・エピソード

錦秋や くらみ七里を ひた走る  
いきなりに 泊めてくれよと ナンパする  
実体験 田舎に泊まろう 秋の郷  
止まり木の 様な家にもどり来て  
干し芋あれば 夜は満足

沖仙

確認  
(リーダー)  
中  
14/11/8  
山  
作成  
(報告者)  
亀  
14/11/8  
山